



住まい手クラブ 発進!

住まい手クラブ代表 木下青子

オルタスクエアで新築やリフォームを行った生活クラブ組合員の有志5名で「住まい手クラブ」として活動を始めました。どんな家に住むかは、そこに住まう人の生き方そのものです。手始めにメンバーの自宅を訪問したりして、住まいへのこだわりや暮らし方を自由に話し合い共有し合っています。

今回の「春の住まい展」(5/16土)への参加も、今後の活動への糸口でした。とにかく忙しいメンバーばかりで、このとき初めてフルメンバー5名が揃ったのですが、初対面のメンバー同士も不思議な親近感を感じあえたのは、オルタスクエアを選んだという共通性ならではの。住まい展ではブースも持ちながら3つの発表を行いました。



左から、神近、藤原、林、佐野、木下の5名です

相模原市の神近さんご夫妻は「快適な住まいをつくる-我が家の場合-」と題して、なぜオルタスクエアを選んだのか、設計士・工務店との関わり、素敵なDIYなどを発表。川崎の林さんは「暮らし方を選ぶ住まいづくり」。組合員活動で学んだ福祉・環境の知識経験から、それらのテーマを実践できる家を建てたこと、また、実際にお家がさまざまな交流の場となっている様子を紹介してくれました。同じく川崎の佐野さんは「仲間とともに住まいの工コを考える」と題して、新築時にご長男のお部屋を大勢の組合員仲間やご主人も一緒になって珪藻土で塗ったことや、暮らしの中の工コな工夫の発表でした。



息のあったダブルスのような
神近さんご夫妻の発表



佐野さんの下の息子さんは、家庭でのリユース・リサイクルを紹介したエコ新聞を製作



林邸は自治会の健康マージャン会場にもなっているとのこと



ユーザー側の生の声を伝えられたことは大きな成果でした。
メンバーも募集中ですので、興味のある方は連絡ください。

Phone 045(476)1105 mail:info@a-sq.co.jp